

事業報告書

自 令和 7年 4月 1日 至 令和 8年 3月31日

社会福祉法人 西 春 福 祉 会

1 法人運営の状況

(1)理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

①令和7年6月3日(火)

出席者	理 事	阿部久邇夫 長岩嘉文 水野高作 横手政孝 大森慎円 岡部憲子
	監 事	井上廣勝
	事務局	山田雅貴 佐藤啓嗣
欠席者	監 事	橋本俊也

付議事項	・令和6年度社会福祉法人西春福社会事業報告について ・令和6年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支決算について ・社会福祉法人西春福社会役員候補者の選任について ・社会福祉法人西春福社会評議員候補者の選任について ・社会福祉法人西春福社会定時評議員会について ・理事長の職務執行状況について
------	--

②令和7年6月26日(木)

出席者	理 事	阿部久邇夫 長岩嘉文 水野高作 大森慎円 太田吉宣 岡部憲子
	監 事	橋本俊也 井上廣勝
	事務局	山田雅貴 佐藤啓嗣

付議事項	・社会福祉法人西春福社会理事長の選任について ・社会福祉法人西春福社会評議員選任・解任委員の選任について
------	---

③令和8年3月17日(火)

出席者	理 事	阿部久邇夫 長岩嘉文 大森慎円 太田吉宣 岡部憲子
	監 事	橋本俊也 井上廣勝
	事務局	山田雅貴 佐藤啓嗣
欠席者	理 事	水野高作

付議事項	・令和8年度社会福祉法人西春福社会事業計画(案)について
------	------------------------------

- ・令和8年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金
収支予算(案)について
- ・第2回評議員会について
- ・役員賠償責任保険について
- ・施設長の選任について
- ・社会福祉法人西春福社会役員候補者の選任について
- ・社会福祉法人西春福社会職員給与規程の改正について
- ・理事長の職務執行状況について
- ・その他

(2) 評議員会の開催

評議員会を次のとおり開催した。

① 令和7年6月26日(木)

出席者	評議員	青木勲男 入江徹男 酒井知子 檜吉真壽 福井昌子 堀場金幸 森川妙子
	理事長	阿部久邇夫
	監 事	橋本俊也 井上廣勝
	事務局	岡部憲子 山田雅貴 佐藤啓嗣

付議事項	・令和6年度社会福祉法人西春福社会事業報告について
	・令和6年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金 収支決算について
	・社会福祉法人西春福社会役員の選任について

② 令和8年3月26日(木)

出席者	評議員	青木勲男 入江徹男 酒井知子 海川成一 福井昌子 堀場金幸 森川妙子
	理事長	阿部久邇夫
	監 事	橋本俊也 井上廣勝
	事務局	岡部憲子 山田雅貴 佐藤啓嗣

欠席者	評議員	福井昌子 森川妙子
-----	-----	-----------

付議事項	・令和8年度社会福祉法人西春福社会事業計画(案)について
	・令和8年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金 収支予算(案)について
	・社会福祉法人西春福社会役員の選任について

(3) 評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会を次のとおり開催した。

① 令和7年6月13日(金)

出席者	評議員選任・解任委員	山下征彦 村瀬雅彦 井上廣勝
-----	------------	----------------

理 事 阿部久邇夫 岡部憲子
事務局 山田雅貴

付議事項 ・社会福祉法人西春福社会評議員の選任

②令和8年3月25日(水)

出席者 評議員選任・解任委員 竹谷久美子 大林英二 井上廣勝
理 事 阿部久邇夫 岡部憲子
事務局 山田雅貴

付議事項 ・社会福祉法人西春福社会評議員の選任

(4)監事による監査

- ①令和7年5月13日(火)、橋本俊也・井上廣勝両監事により、令和6年度社会福祉法人西春福社会事業報告・決算及び関連事項について監査を実施した。
- ②令和7年11月17日(月)、橋本俊也・井上廣勝両監事により、令和7年度社会福祉法人西春福社会上半期決算及び関連事項について監査を実施した。

2 にしはるひまわり作業所の運営状況

前年度から引き続き、米をはじめとする諸物価の高騰、人件費の上昇、人手不足などの社会経済状況が、事業運営に大きな影響を与えている。このような状況の中、新しく利用者が2名(10月、3月にそれぞれ1名ずつ)入所し、利用者は33名となった。利用者に丁寧に関わり添うことを大切にして日々の支援を実施した。行事等もコロナ禍以前に戻りつつあり、支援内容の充実を図った。

(1)地域交流事業

作業所まつり開催のほか、地域で開催された事業に参加した。収益事業では、当作業所の自主製品であるクッキー販売をした。

＜実施行事及び参加行事＞

- ・ハートフェス(8月2～3日)
- ・音楽祭(9月19日)
- ・にしはるひまわり作業所バザー(10月26日)
- ・ボランティアまつり(11月2日)
- ・商工農祭(11月23日)
- ・アザレア映画会(2月14日)

(2)施設間交流行事

北名古屋市内の他の障害者施設と合同事業を実施し、施設間の交流を深めた。

＜実施事業＞

- ・三施設合同運動会(5月2日)
にしはるひまわり作業所、セルフしかつ、あかつき共同作業所が合同で運動会を実施した。
- ・餅つき大会(1月17日)

北名古屋商工会青年部OB会の主催で、にしはるひまわり作業所、セルプし
かつ合同で餅つき大会に参加した。

(3) 日赤奉仕団共同事業

日赤奉仕団の協力のもと、畑の草取り、野菜の収穫を行った。

- ・玉ねぎ収穫(5月14日)

約600kgの収穫があり、市内小中学校の給食食材として出荷した。

- ・さつまいも収穫(10月17日)

(4) 施設外研修事業

施設外に出掛け、見聞を広めた。

<実施事業>

- ・社会見学(11月27日)

行き先 道の駅マチテラス日進、愛知ヤクルト工場、カクキュー八丁味噌

- ・買物実習(3月6日)

エアポートウォーク名古屋に出かけ、店員とのやりとりやお金の使い方の練習をした。

(5) 健康管理事業

利用者の健康状況を把握するために、健康診断を実施した。感染症対策として常時、手指消毒を行うとともに、空気清浄機を利用したり窓を開放して換気に努めた。

<実施事業>

- ・歯科健診(9月4日)

愛知県歯科医師会の協力で歯科検診、歯磨き指導を実施した。

- ・健康診断(9月26日)

(財)名古屋公衆医学研究所集団検診センターに依頼し、施設内で健康診断を実施した。

- ・インフルエンザ、コロナワクチン接種(11月12日)

希望者にワクチンの集団接種をした。

- ・毎月1回、嘱託医による回診を実施した。

- ・毎月1回、看護師による体重測定・血圧測定・検温を実施した。

(6) 防災対策事業

有事に備え避難訓練等を実施した。

<実施事業>

- ・消防避難訓練、通報訓練(8月22日、2月4日)

地震により火災が起きたと想定し、訓練を実施した。避難訓練終了後、消火器の使用方法について説明を受け、水消火器を使用し消火訓練も行った。

(7) 文化的活動体験事業

季節及び年の節目ごとの行事を実施した。

<ロータリー支援事業>

- ・クリスマス会(大道芸)(12月24日)

＜実施事業＞

- ・クリスマス会(12月19日)
- ・仕事納め(12月26日)
- ・仕事始め(1月5日)
- ・節分(2月3日)

3 グループホームソレイユの運営状況

グループホームソレイユは開所から2年10か月が経過し、ホームでの生活リズムが定着してきている。落ち着いて過ごしている利用者がほとんどであるが、生活リズムが不安定になる利用者もいる。今年度は職員の入れ替わりはなく、利用者との信頼関係も構築されてきている。

7月には「地域連携推進会議」を開催し、施設と地域が連携しながらサービスの透明性の確保や利用者の権利擁護などについて意見をいただいた。1月からは、利用者の保護者の要望に応じて、施設において利用者の小遣いを管理する「利用者預り金等保管管理」制度を導入し、現在1名が利用している。3月には短期入所の利用が1名あった。季節の行事を取り入れながら、引き続き、利用者が安心して暮らすことができるよう支援をしている。

(1) 共同生活援助事業

食事・入浴・排泄・健康管理等の支援を実施した。軽い運動になるようダンスをしたりリビングでアットホームな雰囲気でも暮らすことができるよう支援した。12月25日にはクリスマス会を開催し、ビンゴゲームやクリスマスソングを歌って過ごした。

(2) 防災対策事業

有事に備え避難訓練等を実施した。

＜実施事業＞

- ・消防避難訓練、通報訓練(3月19日)
- 地震により火災が起きたと想定し、訓練を実施した。

(3) 地域連携推進会議

7月18日に開催。利用者1名、保護者1名、NPO法人代表、地域の関係者、市福祉課職員が各1名を委員として参加していただいた。事務局より施設の概要とソレイユでの利用者の様子を説明し施設内や居室の見学をする。その後、質疑応答を行った。

4 令和7年度決算の状況

(1) 法人全体及び貸借対照表について

社会福祉法人として地域における公益性を発揮するため、法人・施設の財務管理の側面からいえば、中長期にわたる事業経営管理が重要視される。そこで、以下の指標で当法人の財務分析をした。

・自己資本比率

法人の安全性を示す指標で比率が高いほど安定しているといえる。一般的に50%が目安とされている。

当法人の自己資本比率は、80%である。

・固定比率

法人の長期的な安定性を示す比率。長期に保有する固定資産は、短期的に返済を迫られる資金を充てるのは不都合であり、なるべく自己資本によって調達されるべきで100%を切るのが理想とされている。

高額な固定資産を購入した初期段階は固定比率が上がるが、減価償却を通じて固定比率は下がっていく。

当法人の固定比率は、97%である。

・流動比率

短期(1年以内)の負債の支払い能力を表す比率。

当法人の流動比率は、524%である。平均値は120～150%であり、当面の負債に対する支払い能力はあるといえる。

(2) 生産活動事業について

令和7年度生産活動事業総収入は、6,321,792円であった。前年度と比較すると376,620円増加した。工賃事業収入と集積場管理業務や電池回収業務の受託事業収入、農作業収入が増えたことが主な要因である。

配分金平均支給額は、一人一か月あたり16,893円であった。前年度と比較すると1,047円増加した。

各事業ごとに、令和7年度、令和6年度を比較すると次の表のとおりとなる。

生産活動収入比較表(R7・R6)

